

令和4年度東京都立八丈高等学校全日制課程学校運営連絡協議会実施報告

1. 組織

- (1) 東京都立八丈高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
副校長 主幹教諭（教務主任） 主任教諭（生活指導主任、進路指導主任） 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長 副校長 経営企画室長 主幹教諭（教務主任） 主任教諭（生活指導主任）
主任教諭（進路指導主任） 計6名
- (4) 協議議員の構成
地域自治体首長 地域教育委員会教育長 近隣中学校長 地域官公庁から5名
PTA会長 地域有識者 計10名

2. 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1回～第3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年 5月 9日（月）
協議委員委嘱 委員紹介 評価委員の選出
 - 第2回 令和4年10月 21日（金）
教育活動中間報告及び学校評価アンケート案提示
全日制課程「夏の部活動」報告 定時制課程「全定合同避難訓練」報告
「令和5年度 ハワイ研修」実踏報告
 - 第3回 令和5年 2月 2日（木）
教育活動の年間総括 定時制課程「非認知能力の育成とその考察まとめ」報告
学校評価アンケート集計結果 来年度への課題
- (2) 評価委員会の開催日時会場 出席者 内容 その他
 - 第1回 令和4年 5月 9日（月）
学校評価の基本方針の確認 昨年度の学校評価の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討・GIGA スクール構想・行事の調整のため、年間行事計画を早めに
情報提供してほしい。（中学校長からの要望）
八丈島の優秀な子が八高の魅力を感じるような学校運営を目指す 体力の向上
 - 第2回 令和4年10月 21日（金）
今年度の学校評価の観点・項目・内容の検討 実施時期の検討
ハワイ交流に関する八丈町との連携 ソーシャルスキルの向上と非認知能力の育成
 - 第3回 令和5年 2月 2日（木）
学校評価アンケート集計結果 来年度への課題
全日制課程：学校・生徒・保護者からプラスの評価がある一方、厳しい意見もある。
定時制課程：学習課題 授業の工夫 人間関係の構築、規範意識を高める必要性

3. 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「生徒の様子について」「教育活動について」「教職員の取り組み状況」「地域との連携」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・回収数・回収率 ※ 全対象、Forms によるオンライン回答とした。

1 2月	在籍生徒	対象：138名	回収：126名	回収率	91.3%
1 2月	保護者	対象：125名	回収：25名	回収率	20.0%
1 2月	教職員	対象：52名	回収：39名	回収率	75.0%
1 2月	地域教育関係者	対象：37名	回収：30名	回収率	81.1%

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、学校行事及び部活動、防災教育、健康と安全施設・設備、教職員のライフワークバランスなどの評価項目を学校の実態に合わせて設定。

(4) 評価結果の概要

- ・地域の方からのアンケート回答が増え、八丈学などで関心が高まっていると認識できた。
- ・保護者の回答が少ないのは、「わからない」や「そう思う」「ややそう思う」と思っている人は回答していない傾向にあることがわかった。

4. 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた意見（全日制課程 定時制課程）

- ① 八丈学の交流と住民との関係を良好にしてほしい。生徒数の減少、八丈高校の継続、町の人材不足などの問題を背景に「将来は八丈島に戻る」人材を育成してほしい。（八丈町長）
- ② 非認知能力の育成に関心がある。離島の生徒に対して必要な教育である。今後も続けてほしい。小中高とのつながりが重要。
- ③ 中高生 SNSトラブルが少ない。SNS ルールやマナーについての指導について詳しく知りたい。
→（全日制）生徒手帳にルール記載。行事の際は、許可した者、場面のみ撮影可としている。
（定時制）毎年生徒会を中心に生徒たちで議論させ「八定 SNS ルール」を更新している。
- ④ 家庭学習の定着について、小学校から継続して課題である。一人一台タブレットを用いた家庭学習の定着について情報共有をしてほしい。
- ⑤ スクールカウンセラーの面接についてどのようにしているか。
→（全日制）毎週水曜、または隔週水曜木曜で年間 38 回。全員面接は入学当初に短時間で実施。
（定時制）4月に一人1コマで全員面接。随時オープン体制。
- ⑥ 不登校生徒への対応。傾向として体調面、メンタル面、福祉的な面など様々である。関係諸機関や YSW と連携した対応が必要である。
- ⑦ 令和5年5月から新型コロナウイルスが第5類に引き下げられることによる教育活動への影響については八丈町全体で共通認識をもって考え対処していく必要がある。

5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・取組の成果を公式ホームページ及び Twitter で発信し、広報活動を推進する。

- ・学校内外のオンライン開催も活用し教員研修を積極的に進め、授業等の改善・充実化を図る。

(2) 学習指導

- ・自学自習、家庭学習習慣の定着化を図り、個別最適化学習の取組を進める。
- ・小中高の系統的な学習、学力向上を図り、教育内容を充実させる。

(3) 特別活動

- ・生徒会活動を中心に、生徒の自主自立を支援する。標準服制度の試行を行っている。
- ・全国大会、世界大会レベルのコンテスト、コンクールへの応募を促進する。

(4) 生活指導

- ・ハワイのワイアケア高校との連携、ハワイ研修を中心とした国際理解教育の推進を図る。
- ・非認知能力を更に伸ばす指導と研究開発を行う。

(5) 進路指導

- ・関係機関や高大連携を生かした3年間を通じたキャリア教育を推進し、高いレベルでの進路実現に向けて取り組む。
- ・1学年移動教室の際に上級学校や企業、TGGを訪問し、将来の進路決定につなげる。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラー、YSW等を活用し教育相談体制を充実させる。
- ・青鳥特別支援学校の協力を得て、特別支援教育体制を充実させる。

6. 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
10	0	0	0	0	0	0

7. 職員研修・連絡会及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員研修・連絡会 0回 企画調整会議 0回

8. その他 (総括)

- ・オンライン回答として地域の方のアンケート回収率は3倍に上がったが、保護者アンケートの回収率はわずかに下がってしまった。保護者アンケートの回収率を高めるため、質問内容や依頼方法を検討する。
- ・教員の回答率も100%を目指す。
- ・地域との協働探究学習を通して地域と連携し、八丈高校の魅力を更に高めていく。